



びすてむ通信

VOL.52
2008年12月号



お餅つき！

今年もお餅つきをしました！
 どうしてこの時期に？まだお正月には早いけど...？と思われる方もいるかもしれませんが。私は毎年12月の上旬に「福祉の村」というところで行われる餅つき大会に参加しています。皆さんは「福祉の村」という存在を知っていますか？福祉の村は岡崎市の中央総合グランドの手前にあり、知的な障害者の方をサポートしてくれている施設です。そこで毎年お餅つきをするのですが、すごく喜んでいただけます。前述しましたが、ここにいる方は知的な障害を持っています。それなのに杵や臼をみると、すごくうれしそうです。どうやら去年一緒に餅つきをした思い出が忘れられないようです。たぶん1年間、たくさん楽しいことがあったに違いありません。それなのにその思い出の中にお餅つきが入っていることに、すごく感動してしまいました。それもあってか、

「一緒にお餅を作ろうね！」
 というと、大きな声で喜んでいただけます。ここで少し裏話です...。お餅つきをしたことがある方はお分かりだと思いますが、朝から夕方までお餅をつく作業って実はすごく大変なんです...。しかも大きな声で話しかけたり、一緒に杵を持ってお餅をついたりしています。さらにさらに年々お手伝いさんの数が減っていて、今年は臼を7台用意したのに、ボランティアさんは13名。みなさん、ここで何か疑問を感じませんか？そうです。お餅をつくには手返しをする人も必要なんです。そうすると本当は14人必要なんです...。1人足りない...。でも施設の方がたくさん手伝ってくれたので、なんとか無事におえることが出来たんですけれどね！そんな感じで夕方までがんばるとグッタリしてしまいます...。それでも、こんなにうれしそうな笑顔を見たら、そんなこと一瞬で吹き飛



コタツがほしいな～
やっぱり日本の家にはコタツが必要！

んでしまいます。今年も1日がんばってみて気がつきました。今までかなり贅沢を言って、大人になってしまった気がします。少し気をつけてみれば障害を持った子どもたちも、こんなに元気に、またうれしそうに生きています。私達はこんなにも恵まれているのに、これ以上何を望むのか...。その満足な体と知識を何に使いますか？自問自答してみました。年に1度そんなことを気付かせてくれる、そんなお餅つきでした！

でも疲れたな～～～...

みんなのひとり言

6月におこなわれた親孝行月間の報告です。今月は宮崎君です。

今まで父と母が赴任先にいましたので、中々会う機会がなかったのですが今年に戻ってきて、毎日顔をあわせます。何をプレゼントしようかな...と色々考えたのですが、結局、御津のマリーナにあるイタリアレストランに行くことにしました。久しぶりのドライブということもあり、両親とも喜んでもらえました。ただ「この年になるとたくさん食べるより、少なくともいいからおいしいものの方がいいね」と言われバイクはちょっとまじりかたかな...と思いましたが、なんだかんだ言いながらもたくさん食べていました。大切な時間を過ごせてすごく幸せでした。



喜んでいただきました！のコーナー！

びすてむではみなでお金を集めて誕生日の人にプレゼントを買っています。今年プレゼントを選ぶ代表者になったのは前田さんです。毎回相手に合ったすばらしいプレゼントを用意してくれています。ところが...前田さんからある提案がありました。それは「おばあちゃんにも何か買っていい？」でした。おばあちゃんとは、社長の奥さん(びすてむではみんなから奥さんと呼ばれています...)

のお母さんが毎日ダンボールを片付けてくれているのです。みんなが気持ちよく仕事ができるのもおばあちゃんのお陰です。そんな思いを前田さんが始めて形にしてくれました。もちろん、その提案を聞いて、断る人はいませんでした。そして、おばあちゃんの誕生日！何をあげたかといえば...帽子でした。まだ夏の暑い日でしたので、帽子は最適でした。それをもらったおばあちゃんは何度も

お礼を言っていました。それからというもの、毎日その帽子をかぶって、作業をしています。よっぽどうれしかったんだね！普段は中々気がつかないけど、たくさんの人の優しさの上で、毎日が成り立っているんだな～と気付かされた1日でした。

今月の格言！

勇気はお金で買えない。

(イビチャ・オシム)

勇気は中々でないものです。

でも勇気を出さなければなら

ない時がたくさんあります。

ではどうすれば勇気が出るの？

やっぱり自分を奮い立たせて

がんばるしかないのかな...